

# みずおか俊一さんを国会へ



みずおか俊一

参議院では「あなたに正義」と力合わせて  
私たちは、国会にこ

日退教は、6月の総会で「みずおか俊一」さんを、次期参議院選挙候補者として推薦決定しました。安倍政権になってから、資料の偽造、隠蔽、答弁の嘘等によって、国会の機能は踏みにじられ、立法府独走という状況がつくられています。この状況も国会での「反国民勢力」に3分の2の議席を与えてしまっている私達にも責任があります。

国家を国民のものに  
立憲主義・民主主義

国民の総所得配分を国民重視に  
国家の重要な機能は、国民の総所得を再配分することです。どのよう

に配分するかについて重視する視点は、①生活の基盤を支える「賃金・年金」を重視すること、②安心した生活を送る「介護・子育て」を幅広くすること、③健全な生活を送る「医療・教育」を手厚くすることで、これらは絶対に軽視してはなりません。国民的立場に立つならば、これらに重点的な予算配分を行うべきで軍事予算などは本来ならば必要のないもので少なければ少ないほどよいものです。

## あなたにや正義奮戦記

—国対委員長巻のその1—



「ひどい国会」だった。国会前集会で私たちは歯ぎしりしてこぶしを突き上げた。と同時に、「圧倒的少数の国会で奮戦。仲間の議員は大変だよな」と思いを巡らしていたんだ。

参議院は「良識の府」と言われ、政治的駆け引きの横行する衆議院よりも理性的で理詰めの審議ができる場だったはずだ。それも昔の夢か。破廉恥与党が3分の2を握り、無茶苦茶の高姿勢ぶり。この中で国対委員長の重責を担った日政連「あなたにや正義」さんの苦労は目に見えるようだ。

自衛隊の日報紛失、改ざん問題、森友・加計問題などが3年にわたった審議で押し切られた嘘と欺瞞と暴力の「戦争法」。安倍政権になって国会から腐臭がする。国民の信頼は地に落ちた。

私たちは、「みずおか俊一」との最強のコンビを組み、国民から信頼され、主権者国民のものである国会を取り戻すことに期待をもとう。諦めないぞ！

与党勢力と渡り合いました。水岡さんとは、参議院議員として12年間、主に教育・文化畑で大活躍され、民主党政権では総理補佐官を務めました。二人コンビの活躍する姿を見たいものです。(水岡さんの政策はピラなどを読んで下さい)

うした立場をきつちりと押さえた人を送るべきで、日退教は「みずおか俊一」さんにその仕事を託そうと総会で決めたのです。

国会には、すでに日政連の「あなたにや正義」さんがいます。那谷屋さんは今時国会で参議院立憲民主党の国会対策委員長を務められ、強引な

日退教通信

No. 379

2018.9

日本退職教職員協議会

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館5F  
発行責任者 竹田邦明  
TEL 03(5)27752197 FAX 03(5)27752081  
E-mail nritaikeyo@gmail.com ホームページURL http://www.nritaikeyo.com

# 退職者連合 第22回定期総会

7月12日 連合会館

## 吉田順子副会長の発言



吉田順子副会長

倍政権で「女性活躍」を掲げて、輝けない政治が変えられることはたくさんあるのに、これまで本気でやってこなかったこの法律を注視したいし期待もしています。

この動きと私たちが今進めている女性参画（＝政策決定の場に女性を）とは、お互いに後押し運動するものだと思います。私たち日退教は、2年前から「女性の集い」を開催し、その話し合いの中で家

父長制の社会通念が依然として運動や地域に根強くあること、そのため役員の女性比率が極端に少ないことが共通の問題として浮かび上がってきました。その他、地方の要請もあり、出来ることから退連に倣い「議長一人を女性に」「女性議員の参加を」と要請してきました。

結果、昨年の女性代議員は92名中12名の13%、今年には93名中17名の18%となりました。今年、増えた要因

として、今年は「女性代議員の確保に最大限の努力をとの要請」をされたことが結果につながったのではないかと思います。

簡単なことではないのですが、女性だけのためではなく、みんなにとつて生きやすい社会にするため、退連の仲間の皆さんと一歩でも二歩でも前進させていきたいと思っています。女性にも、色々な経験をさせてください。ともに頑張りましょう。

今国会で、「候補者男女

均等法案」が、全会一致で成立しました。この法案は、国会や地方議会の選挙で、男女の候補者数をできる限り「均等」にするように求める内容です。規定にない理念法ですが、議会に女性を増やすための日本で初めての法律です。「男性中心の政界」がやっと重い腰を上げたのです。これですぐに女性議員が増えるとは思っていませんが、まず一歩を踏み出したわけですから喜ぶたいと思います。安

## 地方公務員退職者連合 (地公退)

### 第49回定期総会

7月27日 ルポール麹町



本村富美子副会長

#### 本村富美子副会長の発言

財務省のセクハラ問題を麻生や官僚のせいではなく、自らのこととして取り上げてくださったことに感謝します。問題は、セクハラを容認するような社会をどう

したらなくせるかです。

セクハラは、力のある者が力のない者に行う行為です。このような状況を見逃すことなく、ジェンダー、対等・平等、男女共同参画を促進していくことこそ、セクハラを容認しない社会の実現への道ではないでしょうか。

#### 越川薫一福祉部長の発言

1 「アベノミクス」で、日銀が禁じ手の国債購入をしているが、戦時中



越川薫一福祉部長

国債が戦後のインフレを引き起こしました。このままでは、市場の大混乱は不可避です。それにはどこでどうするのがいいのでしょうか。

2 区「介護保険説明会」に出て、説明者は何も知

らないで3年計画を発表していることが分かりました。終わると課長が私の所に来て、「全部民間にまかせろ、と思ってるのだろう、そのような区は一つもない」と言っ

ていました。900人入る会場には40人しかいませんでしたが、各地域で、このような会にできるだけ出席して、意見を言うことが必要ではないでしょうか。

3 名古屋市長の話で、「100億円減税したら、年収が300億円入ってきた」と言っていた。一考に値すると思いました。

## 辺野古に新基地は作らせない、沖縄知事選勝利!

### 2018 辺野古座り込みツアー(7/3~5) 参加記

都高退 奥山 恵

都立高校在職中、修学旅行やその下見などで何度も訪れた沖縄。生徒たちと大浦湾でシーカヤックをしたこともあり、辺野古の海的美しさとそれを守る長きにわたるアクションには、ずっと心惹かれてきました。その後退職し、地元千葉で小さな本屋を営んでいます。が、ますます人と地域、人と自然のつながりについて考えることが多くなり、その意味でも、今回都高教退職者会で、座り込みツアーがある聞き、参加させていただきました。

何年か前にも個人的に辺野古や高江のテントを訪ねたことがあります。そのときは工事中断期間中、穏やかな雰囲気でした。しかし、今回は台風の余波で激しい雨の中でも、工事はどうも進められている状況で、とても緊張しました。

朝の最初のゲート前デモの時はとくに雨がひどく、ズボンやサンダルはびしょぬれ。昼と午後には、ゲート前にブロックと板を並べて腕を組み、文字通り座り込みました。また、トラックや機動隊の人たちに向け

て、退職者会のみなさんとマイクを握ってリレートークもしました。なぜ反対なのか、何を守りたいのか、それぞれが本音で語りました。

しかし、そんな声が届いているのか、完全装備の機動隊に腕を掴まれるときのなんともいやな感触。多くの市民が抗議の声をあげる中を、土やブロック片を積んで、フェンスの中へつぎつぎと入っていく何百台ものトラックの列……。むなし、絶望的な気持ちになりました。

それでも、テントに戻りお弁当を食べながら、工事の状況や他の地域の運動の様子などの報告を聞き、また日本各地から応援に来た人たちのメッセージなども聞いていると、この場所が貴重な学びの場なのだと思えて実感しました。夜の



# 「土砂投入を許さない！ジュゴン・サンゴを守り、 辺野古新基地建設断念を求める8・11県民大会」に参加をして

日退教事務局次長 松淵 昂



翁長知事の次男 雄治那覇市議会議員

今回は、大変残念なこと  
に、8日に翁  
長知事が急に  
亡くなるとい  
う中での大  
会でした。  
奥武山公園  
陸上競技場  
には、続々と  
参加者が集まり、  
開会直前には  
翁長知事の生  
前の肉声（6  
月23日「慰霊

の日」、翁長知事の平和宣言）  
が流されました。  
開会后、黙祷をし、翁長雄志  
知事の次男雄治那覇市議会議員、  
謝花喜一郎知事職務代理者（副  
知事）、城間幹子那覇市長（翁  
長知事の同期生）、沖縄平和運  
動センター山城博治議長たちが  
力強い挨拶をしました。

会場には入りきれない人も含  
め7万人が、喪章をつけたり、  
黒い服を着たり、辺野古ブルー  
のシャツを着ていました。特に  
子どもたちの参加も多く、親子  
3代の参加もあり、運動の広がり  
を感じました。集会

は、台風14号の影響  
で、雨も途中から降る  
中、本当にみんな静か  
に話を聞きつつも、翁  
長知事が命を削って  
も辺野古新基地建設  
反対を貫こうとした  
意思を、再確認をしま  
した。

8・11県民大会決議  
（抜粋）  
私たちは、安倍政権

と沖縄防衛局に対し強い怒りを持  
って抗議する。私たちは豊かな  
生物多様性を誇る辺野古・大  
浦湾の美ら海に新たな基地を造  
らせない。沖縄県民の命とくらし、  
沖縄の地方自治と日本の民主主義  
と平和を守るためこの不  
条理に対し全力で抗い続ける。  
以下、決議し日米両国に対し、  
強く抗議し要求する。

- 1 ジュゴン、ウミガメ、海  
草藻、サンゴ類の生息環  
境を破壊する土砂投入計  
画を直ちに撤回すること。
- 2 大浦湾側には活断層の  
疑いがあり、海底には超  
軟弱地盤が存続する。建  
設計画を直ちに白紙撤回  
すること。
- 3 沖縄高専、久辺小・中  
学校、集落の人たちの生  
命・財産を脅かす新基地  
建設を直ちに断念するこ  
と。
- 4 欠陥機オスプレイ配備  
を撤回し、米軍普天間基  
地を即時閉鎖・撤去する  
こと。
- 5 欠陥機オスプレイの国  
内における飛行を直ちに  
全面禁止にすること。

## ◆編集後記◆

今夏は、経験のない猛（酷）暑が続いた。引籠つてテレビを見ると、どのチャンネルも、日大アメフト部のスキヤンダルで視聴率を稼げたことから、2匹目のドジョウとばかりに、これまた、マイナーなボクシング協会、そして、居合道昇段での札幌攻勢というセンセーショナルな「番組」一色であった。時の政治が私物化と国民、国会軽視とあつては、ムベなるかな。これらの、暗澹たる渦のなか、2年前を口実に東京五輪ファースト。招致裏金、エンブレム、新国立競技場見直し、膨れあがった建設費用、更には、開催決定前の開催賛成の都民は半数強だったのも忘れ、そののけ、そののけ、「五輪旗」が通るとばかりに、五輪「ファッショ」の動きが。

その第一が、開催時のテロ防止を口実に成立した「共謀罪」。第二は、東京五輪の開催式に閣下している椎名 林檎が「国民全員が組織委員会」の暴言。第三は、多くの国が廃止の方向に動いている「サマータイム」の強行導入。最後は、文科省・スポーツ庁が全国の大学、高専に対して、悪条件で集まらない五輪ボランティアに学生を参加させるため、開催期間中は授業や試験をやらないよう「学徒動員」「国家総動員」まがいの通知を出した。更には、中高生にも、ボランティアを内申点や推薦に反映させるとして、半ば強制しようとしている。企業に対しても、「大会期間中はボランティア休暇制度を」と。我々の日常生活に対しては「オリンピック中はネット通販を控えて」と。「オリンピックのため」の滅私奉公が全国民に呼びかけられている。滅私奉公しない者は「非国民」のような風潮を醸成し、「復興五輪」どころか、愛国心を煽るだけの最悪のイベントになりつつある。

「教え子を再び戦場に送るな！」の不滅のスローガンをもつ、退教はどうすべきか。しかし、こんな動きを諫めるように、今夏のNHKの「敗戦特集」番組は、今までにない視点での構成で誠に良く、最適の教材番組であり、留飲が下がった。(N)

●お詫びと訂正  
前号の新副会長に選出された苅谷重信さん  
の「刈」が「刈」になっていましたので、お詫びをして訂正します。